

15. 乳幼児突然死症候群（SIDS：シズ）から赤ちゃんを守るために

保育園ではこのように気をつけています。

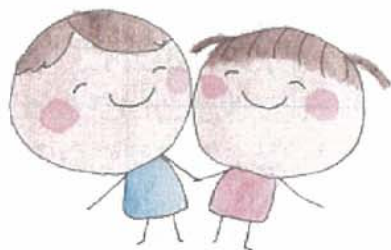
- ◆赤ちゃんをひとりにしません。
- ◆保育士が見守り赤ちゃんの様子を定期的に観察・記録します。
- ◆ベットの周りにはひもやタオルなど危険な物は置きません。
- ◆うつぶせ寝はしません。

SIDS（Sudden Infant Death Syndrome シズ：乳幼児突然死症候群）

SIDSとは・・・

それまで元気だった赤ちゃんが事故や窒息ではなく、眠っている間に突然死亡してしまう病気です。日本では、年間500～600人前後の赤ちゃんがこの病気で亡くなっています。これは生まれてきた赤ちゃんの約2000人に1人の割合です。そのほとんどが1歳未満の乳幼児の赤ちゃんに起きています。

原因はまだよくわかっていませんが、育児環境の中にSIDSの発生率を高める因子のあることが明らかになってきました。



16. こども園みどりの里の保育・取り組み

- ① 恵まれた自然環境を生かし、四季を通して戸外活動を主とし、たくましく健康な体づくりと感性を大切にしたい保育を心がけています。
- ② ありのままの子どもらしさを個性豊かに発揮できるよう子ども主体の保育を基本とし、子どもにとって最優先である保育を心がけています。
- ③ 心をこめた栄養満点の手作り給食は、子どもたちの健康な体づくりの基礎となり、子どもたちが楽しんで作るクッキングや自然とかがわっての野菜づくりは感謝の気持ちや物を大切にする心を育ててくれます。楽しい食事を通して食育への取り組みを行っていきます。
- ④ 戸外活動や行事を通して、地域の環境に触れたり、いろいろな世代の人と関わりを深め、子どもたちの優しさや思いやりの心を育てています。また、地域に向けた子育て支援活動を行います。
- ⑤ 地域社会や核家族で人との関わりが希薄になっている現代、こども園みどりの里では様々な年齢の子どもと関わる時間を大切に考えています。年齢別のクラスを基盤にしながら、異年齢活動のなかでも大切な体験が出来るように、職員が子どもたちを年齢で決めつけるのではなく、ひとり一人を認める保育を心がけています。

子どもたちが、いきいき・のびのびと遊んでほしい・・・

私たちの願いです。

